

# 平成 28 年度 事業計画

## 1 現況及び基本方針

### (1) 現況

国内の経済状況をみると、近年緩やかな回復傾向が続いていたが、昨年半ばからは世界経済への懸念から国内の景気の先行きに不透明感が増しており、そうした中で、長年続いたデフレからの脱却と日本経済の再生を目指した政府の懸命の取り組みが続けられているところである。

当センターの事業実績については、平成 24 年度以降にあった適正就業の是正や、公共施設の指定管理者が民間企業になったことなどによる影響が一段落し、契約金額は 3 年ぶりにわずかながら前年度比プラスを確保することができた。

一方、会員数については、60 歳以上の継続雇用制度の普及等に伴い、新規の入会者の減少及び入会時の平均年齢の上昇傾向が続いている。

シルバー人材センター事業に係る制度面では、昨年 9 月の「労働者派遣法」の改正により、シルバー人材センターの対象となる 60 歳以上の派遣業務では、契約期間の最長 3 年という規制が撤廃されるとともに、本年 3 月の「高年齢者等の雇用の安定に関する法律」の改正により、派遣業務等においては、週 20 時間以内という制限の緩和も可能になるなど、高年齢者の活躍への期待が高まっている。

当センターとしては、こうした状況を踏まえ、会員の多様なニーズに対応するため新たな仕事を開拓していくとともに、継続雇用の終了する 65 歳以上の世代、特に団塊の世代を意識した会員拡大に取り組んでいく必要がある。

### (2) 基本方針

このような状況の下、平成 28 年度実施事業は次の目標を設定した。

ア 「会員の確保」については、4,400 人（女性割合 39.5%）

イ 「就業開拓の拡大」として、受注額 15 億 8,400 万円

ウ 「事業活動の充実」として、就業率 75%

これらの目標達成に向け、会員一人ひとりが広告塔の合言葉の実践に努めるとともに、会員増強のための、より入会しやすい制度の改善や派遣業務の一層の強化に努めるなど、会員数の回復及び受注額の拡大を図ることとする。

また、平成 28 年度中には、これまでの取り組みを検証し、次なる 5 年間に

見据えた第四次基本計画を策定する。

## 2 公益目的事業について

当センターは、公益社団法人として、「高年齢者の臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業、及びその他の社会参加活動を推進する事業」を行うことにより、高年齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的として、以下の公益目的事業を実施する。

なお、実施に当たっては、次のことに留意するものとする。

ア 就業の拡大に要する会員の確保と資質の向上

イ 多様な社会ニーズへの対応

ウ 公平公正な就業を目指したワークシェアリング等の推進

### (1) 請負業務に係る就業機会の提供（雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務）

ア 高年齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高年齢者にふさわしい地域に密着した仕事を、家庭、民間事業所、官公庁等から有償で引き受け、これを高年齢者に対して、その能力、希望等に応じて請負又は委任という形式により提供する。

イ 独自事業の充実・拡大により、高年齢者の社会参加を促すとともに、一部事業においては、エコ活動を展開することにより社会貢献へ取り組む。

(ア) 自転車再生事業、衣類リフォーム事業、リサイクルショップ事業など

(イ) こども勉強室事業、文化教室事業

### (2) 派遣業務等に係る就業機会の提供（雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務等）

ア 労働者派遣事業

あらかじめ登録した高年齢者のうち、派遣労働を希望する高年齢者を対象に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき実施する。

イ 職業紹介事業

仕事の求人を受け付け、これをそのような仕事を希望する高年齢者に紹介する事業であり、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき実施する。

### **(3) 研修計画（就業に必要な知識及び技能を付与するための講習）**

地域に適した仕事が存在しても必要な能力を有していなければ就業に結びつかないので、必要な技能・知識を付与することにより就業に結びつけ、より広い就業分野での仕事の確保と提供を行うことにより、高年齢者の生きがいの充実と福祉の向上を図り活力ある地域社会づくりに寄与する。

#### ア 職群（スキルアップ）研修の実施

植木スクール、刈払機取扱講習会、筆耕研修、ベビーシッター研修など

#### イ 市民サービス向上のための研修の実施

駐輪場接遇研修、福祉・家事援助初級研修など

#### ウ 会員の資質の向上を目指した研修の実施

新人研修（シルバー事業の理解など）など

### **(4) その他の活動（上記(1)～(3)の事業を推進するための諸活動、及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動）**

#### ア 普及啓発

シルバー事業への信頼と理解が得られるよう、市民、事業所、官公庁に対し、本事業の意義と基本的な理念及び仕組み等の周知とともに、高年齢者自身のシルバー事業に対する意識啓発を実施する。

特に、団塊世代・女性会員の加入の促進を図る。

(ア) ホームページ及び行政機関広報などによる周知・広報

(イ) 全会員によるPR活動の展開

(ウ) 無料情報誌「はた楽」の発行

(エ) 広島市等が実施するイベントへの参加による周知・広報

(オ) 理事会広報部会による広報活動の展開

#### イ 安全・適正就業の推進

高年齢者が自らの健康の維持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発活動を実施する。

(ア) 安全意識の醸成にかかる事業の実施（安全就業強化月間など）

(イ) 適正就業に関する研究・実施

(ウ) 安全・適正就業に係る現場巡回

(エ) 適正就業に関する情報収集（他先進シルバー等の調査研究）

#### ウ 就業分野の開拓・拡大

地域の事業所、官公庁等を訪問・面談し、高年齢者にふさわしい仕事を積極的に開拓するとともに、高年齢者の職業能力や経験を把握分析し、地域のニーズに対応する仕事の提案などを行う。

(ア) 就業開拓の推進（就業開拓員による事業所等訪問など）

(イ) 多様な社会ニーズに対応できる会員の確保（会員の育成・技能向上）

(ウ) 会員の持つ様々なスキルを活用した事業の検討・実施

エ 相談、情報提供

入会を希望する高年齢者を対象に入会の方法について説明し、高年齢者からの相談に対応するほか、各種相談、情報提供を一般市民や高年齢者に対し実施する。

(ア) 入会方法の説明

(イ) 未就業相談会の実施

オ ボランティア活動等の社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高年齢者を対象に社会参加活動を実施する。

(ア) 公共施設等の美化活動の実施

(イ) 通学時等の児童の安全見守り

### 3 経営及び運営基盤整備

公益目的事業を実施するにあたり、経営及び運営基盤の整備をする。

(1) 会員の総合力を活用した運営

ア 会員の経験及び知識・能力等を活用した運営の促進

イ 地域班の活性化

(2) 理事会の充実

ア 理事会専門部会の活性化

イ 役員と各種リーダーとの連携強化による会員活動の活性化

(3) 他団体との連携

(4) 財源の確保

ア 補助金等の確保

イ 自主財源の確保

## 平成28年度 研修会等実施計画表

研 修 科 目	実 施 予 定 時 期	委託先 又は講師	参加予定 会員数
新 人 研 修 ( 4 か 所 )	平成28年4月～ 平成29年3月 (年48回)	事務局	720名
安 全 講 習 会 ( 4 か 所 )	平成29年 1月	未 定	150名
筆 耕 研 修	平成28年10月	会 員	20名
筆耕年賀はがき研修	平成28年11月	会 員	20名
筆耕卒業証書研修	平成29年 1月	会 員	15名
駐輪場就業会員接遇研修	平成29年 2月	事務局	200名
福祉・家事援助初級研修	平成28年4月～ 平成29年3月 (年12回)	事務局	各20名
介 護 研 修	平成28年10月	未 定	30名
調 理 研 修	平成28年11月、12月 平成29年 1月	未 定	各20名
ベビーシッター研修	平成28年 7月	未 定	50名
植 木 ス ク ー ル	平成28年5月～7月 及び9月～10月	樹木医	20名
刈 払 機 取 扱 講 習 会	平成28年11月	有資格者	50名